

第2回双葉地区地域審議会会議録

1. 日時

平成24年2月3日(金)

13:30～16:00

2. 場所

双葉公民館 2階 第一研修室

3. 会議次第

開会

- (1) 会長あいさつ
- (2) 塩崎駅周辺整備事業について
- (3) 山県大弐・ラジオ体操について
- (4) 行政視察：双葉庁舎改修事業について
- (5) その他

閉会

4. 出席者

(1)出席委員[6名/6名]

(2)事務局

土屋秘書政策課長、武川都市計画課長、大森双葉支所長

秘書政策課総合政策係：石合係長、石原主査、小澤主査

都市計画課まちづくり推進係：丸山係長

花輪双葉支所地域課長、双葉支所地域課環境土木係長：箭本係長

5. 議録

開 会

〔秘書政策課長〕

本日は、公私共にお忙しい中、御出席いただきありがとうございます。会議を始める前に全員であいさつを交わしたいと思いますので、ご起立をお願いいたします。相互に礼（こんにちは）ご着席ください。ただ今から平成23年度第2回双葉地区地域審議会を開催いたします。それでは、最初に福岡会長あいさつをお願いします。

(1) 会長あいさつ

改めましてこんにちは。本日は、お忙しい中、かつ、寒さ厳しい中、本会議に足を運んでいただきまして誠にありがとうございます。本日は、審議案件2件と現地視察を予定しております。今後の活動や実施に向けて重要な案件でありますので、皆さんのご意見を拝聴し、有意義な会議にしていきたいと考えておりますので皆さんのご協力をお願いいたします。

〔秘書政策課長〕

ありがとうございました。続きまして、本来であれば、ここで企画政策部長があいさつを申し上げるところですが、身内の不幸のため急遽欠席させていただいております。従いまして、今回、あいさつを割愛させていただきたいと存じます。ご了承ください。

それでは、協議に入る前に本日出席している職員を紹介したいと思います。初めに報告事項の塩崎駅周辺整備事業の関係で、都市計画課長の武川です。担当係長の丸山です。次に行政視察の関係で双葉支所長の大森です。次に事務局の係長の石合です。石原です。小澤です。最後に私が秘書政策課長の土屋でございます。どうぞよろしくお願ひしたいと思います。それでは会の進行につきましては、甲斐市地域審議会条例第8条第3項に基づき福岡会長にお願いします。よろしくお願ひします。

(2) 塩崎駅周辺整備事業について

〔会長〕

それでは、ご指名いただきましたので、進めさせていただきたいと思ひます。まず4、報告事項の①塩崎駅周辺整備事業について武川課長からご説明をお願いします。

（武川課長、資料に基づき説明）

〔会長〕

ありがとうございました。ただいま武川課長から説明を受けた内容につきまして、委員の皆様からご意見、ご質問等がございましたらお受けしたいと思います。

〔委員〕

アンダーガードの道路幅は何メートルになりますか。

〔都市計画課長〕

道路幅につきましては、9m、片側2.75m、0.5mの路肩を取りまして、東側に2.5mの歩道を設けて全体で9m。現在が4.3m、今の約倍になります。

〔委員〕

交互通行は出来ますか。

[都市計画課長]

出来ます。

[委員]

工事中は通行止めになりますか。

[都市計画課長]

アンダーガードにつきましては、JRとの協議のなかでは、期間が掛かりますので、工法によって、全面通行止めを避ける方向で調整中です。

[委員]

ホームへ上がる障害者用のスロープがありますか。

[都市計画課長]

現在、再設計していきまして形は変わりますが、JRの基準に基づいたスロープが、南口、北口とも付きます。

[委員]

ホームに架ける屋根は、今の現状の位置でどこからどこまでかわかりますか。

[まちづくり推進係]

坊沢川から車両3両分を目標に、今、屋根を架けるような形で検討しています。

[委員]

上下線とも待合室がありますよね。

[まちづくり推進係]

JRとしては坊沢川から今のアンダーガードの付近くらいまでを上下線とも検討しています。

ホームも4メートルに広がりますので、待合室の位置も変わります。

[委員]

ホームは上り下り両方が広がりますか。

[都市計画課長]

両方とも4メートルになります。

[委員]

3両ではなくて、もうちょっと長くできませんか。

[都市計画課長]

この辺がJRが乗降客によって全体まではできないところです。

3両分、止める位置も屋根がある位置で止まるとお話ししています。

[委員]

北口も変わりますか。

[都市計画課長]

北口もロータリーと自転車置場や屋根を全面架ける計画でいます。

[委員]

参考ですが、南アルプスの人が塩崎駅をたくさん利用しています。その方々が、ホームが狭

すぎて、特急が来ると怖いとの意見があります。

〔秘書政策課長〕

塩崎駅を整備するなかに、いくつかどうしても直さなければならないこと、その中の一つにホームの幅の問題があります。特急が目の前を通過するわけですから、市長も自ら朝晩乗って見て、その危険性、それから屋根の問題とか、何種類かありますが、特に最優先の事項の問題であります。

〔委員〕

竜王駅は昇ってから切符買ってホームへ降ります。塩崎駅はそのまま乗れます。何故良くしないかとの意見もあります。

〔都市計画課長〕

平成25年度末までには概ね仕上がる予定でいます。

〔委員〕

5ページにスケジュール表がありますが、事業主体は、どうなっていますか。

〔都市計画課長〕

事業主体は、甲斐市になります。ただ、駅舎や駅施設につきましては、甲斐市がJRへ委託をして作ってもらいます。JRの施設は市で工事できません。

〔委員〕

駅舎についても、全部市の負担ということですか。

〔都市計画課長〕

駅舎の部分については、一部JRから負担していただきます。

残りの部分については、全部、市の負担となります。

〔委員〕

この全ての事業は市の事業ということですね。建設はJRへ委託するということですか。

〔都市計画課長〕

そうです。

〔委員〕

総事業費は、幾らになりますか。

〔都市計画課長〕

20億円くらいです。ただ、これはアンダーガードを抜いて、20億くらいを予定しています。

〔委員〕

竜王駅はどれくらいですか。

〔都市計画課長〕

全部で95億です。

〔委員〕

北側の道、交差点を中学生が通行する安全対策はどのようになっていますか。

〔まちづくり推進係〕

今のこの部分は、対面通過できる道路となりますから、今、赤い点滅信号で交通規制をおこなっておりますが、今後、公安委員会と交通規制課と交差点の形状を、一停止とか横断帯を作ったり、今後協議して決定していきます。今の状態では確定出来ないなので、厳しく、横断帯を作ったりとか止まれという完全な交通規制を掛けたりしながら、安全対策を今後警察と一緒に検討していきます。

〔都市計画課長〕

当然その部分の交通規制は多くなるというか、ここは交通規制が完全にできますから、その部分は特に警察と打ち合わせしながら安全対策をやっていきます。

〔会長〕

今のことに関連して、この前の住民説明会でも出ましたが、新しい図面では用途が描いていないが、臨時駐車場、短時間駐車場の今後の予定を教えてください。また、塩登橋の橋梁工事と絡めて、あの辺が暗い状態にあるので、照明関係を検討していますか。

〔都市計画課長〕

まず、防犯等の関係ですが、市民活動支援課と打ち合わせをして、市民活動支援課から地元の区長さんと打ち合わせをさせていただいて、その中で付ける場所が確定した場合は、都市計画課の事業の中で取り付ける予定となっています。ただ、環境の問題が出ますのでその辺を整理してもらって、解決出来るようであれば、都市計画課で付ける予定でいます。区で打ち合わせをしていただきたいと思います。後、一時駐車場につきましては、今、台数の関係とか機械等を設置するとお金が掛かるという話もありましたので、検討させていただいております。全体の計画が出来ましたらお示しさせていただきたいと思います。

〔会長〕

駐輪場の部分も今の計画で広場に含まれるのでなくなりますが、今後検討するということですか。

〔都市計画課長〕

検討していきます。

〔委員〕

駅前の、今、下今井の小学生が通っている道がありますよね。それはどうなりますか。

〔都市計画課長〕

歩道橋を造ります。

〔委員〕

歩道橋以外の対策はないですか。それは、旧国道でも何箇所か学校の関係で歩道橋が作っていますが、渡っている子供は見たことがないです。私もこの間、竜王庁舎行くのに、竜王駅から歩いて行ったのですけれども、広い国道20号を渡る時ですら、上を歩いて行く人と道路を渡る人が半々でした。

〔まちづくり推進係〕

歩道橋については、あくまで通学路という中で、地域の方々から市道山本線は朝の通勤通学のラッシュが危険だということで歩道橋が提案されています。やはり通学路ですから、

教育の一環として集団登校の中でちゃんと歩く動線を班長さんに指導して、歩道橋を使ってもらうように教育委員会に言って指導していきたいと思いますのでよろしくお願ひします。

[都市計画課長]

南口もロータリーを作りますので、交通量が多くなります。ここからアンダーガードで下げなければなりませんので、横断歩道も難しいということで地元の要望もあって歩道橋の設置ということに成りました。

[委員]

竜王駅にたくさん駐車場と駐輪場とありますが、その使用状況はどうなっていますか。

[都市計画課長]

駐輪場はほぼ埋まっています。車の駐車場は南口、北口に一時駐車場だけ設置しています。一時駐車場については、ある程度使用されています。

[まちづくり推進係]

短時間駐車場は完全に埋まっているものではありません。一時的に路上駐車や違法駐車を防ぐ為に駅にお迎えの方や切符を買いに来た方が利便性の向上の為に1時間は無料となる物です。

[秘書政策課長]

駐輪場はどれくらいの利用量ですか。

[まちづくり推進係]

今、駐輪場についてはほぼ一杯に埋まっています、周辺の道路の歩道には路上駐車は一切ありません。

[委員]

ただ、ここは、多方面から通学の子供がたくさんいます。うまく駐輪場も考えていただければと思います。

[都市計画課長]

駐輪場は、北口のロータリーと南口に設置いたします。現在、北口にある駐輪場も空き地となるので、状況により、駐輪場としても使用できるので、今後の駐輪場の使用の状況等を見ながら検討していきます。

[委員]

私たちは、JRの方と直接お話する機会がないのでお願ひしたいことがあります。現在はホームが狭いです。その中で、放送を考えてもらいたいです。「下り電車が来ます」と言いますが、止まる電車も特急電車が通過する時も同じ様に言います。通過する列車と止まる列車の放送を変えてもらいたいです。

[都市計画課長]

現状の安全策のお話ですね。わかりました、JRに話したいと思います。

[会長]

以上出た内容について、まとめてお願ひしたいと思います。

(3) 山県大式・ラジオ体操について

[会長]

続きまして、②山県大式・ラジオ体操の推進について事務局から説明願います。

(総合政策係から資料に基づき説明)

[会長]

ありがとうございました。ただいま事務局から説明を受けた内容につきまして、委員の皆様からご意見、ご質問等がございましたらお受けしたいと思います。

[会長]

なかなか双葉自体では山県大式さんはあまり定着していませんが、自治会でも皆いただいたポスターを掲示して貼ったりしていますが、あまり反応がない感じですが、よその地域ではどうですか。

[秘書政策課長]

元々、竜王村出身の方と言うことで、例えば、竜王の小学校と竜王の中学校の校歌がございまして、竜王の小中の9校を調べましたら、7校の学校で、校歌に山県大式のことが歌ってありました。甲斐市になって、敷島と双葉の学校はというとプロジェクトで研究したところそちらはありませんでした。今までの地域の単位ということで、やっぱり、なかなか普及していないと思っています。だからといって、甲斐市として、歴史とか文化に名前を残しましたし、歴史の教科書に載れる人は、調べてみますと、武田信玄の後に教科書に載せてもらえる名前の方はなかなか少ないです。山県大式は教科書に取り上げられる題材の方でもありますから、市としても積極的にPRしていくことも充分必要だろうと、しかも教育ということで市長も特に力を入れていることでもありますので、それでは一つ職員単位でもこんな風に考えて、昨年から取り組んでいます。私もまだまだ周知は足りていないと思っていますが、ポスターをここへ貼らしてもらったり、駅とかあちこちに貼らしてもらったりしていますが、知名度的にはまだまだと思っています。

[会長]

ポスターを自治会に一ついただいています、追加をいただけますか。

[事務局]

もう在庫はないようです。あれは展示用で持って来ています。

[委員]

ポスターのサイズの4分の1くらいの大きさでいいから、知名度を上げるには絶えず目に付かないとならないと思います。

[事務局]

小学校の社会科副読本の見開きで大きな記事で取り扱っていただくことになっていまして、4月から新しい副読本は勉強しますが、課長が言いましたように教育の中に偉人がいたという歴史的な勉強とどういう功績があったということを教えること、決してこの人の思想や、山県神社にお参りにいきなさいという思想を押し付けるものではなく、あくまで郷土にはこんな偉人がいたと、皆さんも一所懸命勉強しましょうというところがこのプロジェクトが目指している主な所でございます、子供に頻りに山県大式の名前を教えることによって、その子供が大

きくなった時に、今の我々大人と違った感覚で山県大弐を見る事が出来るのかと長いスパンになりますけれども、そんな希望も抱いています。

[委員]

参考なるかわかりませんが、敷島と双葉の小学校5年生以上を市にバスがありますので、1時間でも2時間でも神社に連れて行って説明会を開いて、今の若い方々に山県大弐の教育をして行ければ、多少なりとも旧敷島、旧双葉にも意識が高まるのではないかと思います。

[事務局]

小学校高学年になると、先生に教えてもらう社会科の勉強だけでなく、グループで自分達が住んでいる近辺を色々、物を探し歩く授業があります。そういう所へこういう物を取り組んで行ければと思います。

[委員]

今の私たちには難しいですが。

[委員]

そうは言いますが、高齢者もたくさんいます。簡単なパンフレット、絵が中心で漫画チックな啓発が出来ればお年寄りもいいと思います。そうしないと、今、小学校の子供に教育してそれがと言っていますと十何年先にならないと山県大弐が甲斐市に知れ渡らない。それでは意味がありません。お年寄りも対象にしたことも一つ考えていただければと思います。

[秘書政策課長]

会長さんが言ったポスターの話から、まだまだ、平成23年からの取り掛かりなのですけれども、少し力の入れ方や、副読本の他にもまた子供達や成人の方々にもそういう物を学んだり、時に耳にしたり、字も難しく中々読める方もいないです。竜王の子供に山県大弐と書かされると字が山形県の山形になってしまいます。力を入れていくことは十分に認識していますので、貴重な提言として活かして行きたいと思います。

[委員]

偉大な人と言いますが学者と言うことで、なかなか業績で信玄堤を造った人とか山梨県に鉄道引いた人だとかそういう業績がないだけに、我々も読んだ時に実態として分かりにくいです。どちらかという思想家の部分が強いですよね。その辺を子供達へ理解させるのは難しい。偉大というのは分かりますが、何をもって偉大なのかと理解させるのが難しいと思います。

[委員]

確かにこの人の名前は合併して初めて知りました。双葉の人の9割は知らないかと思います。

このポスターもぱっと見てわかりにくいです。だから、周知させる難しさと、後、三井委員が言うように学校の先生が教える、政教分離の問題もありますからそういう難しさもあると思います。

[委員]

いかにして知らしめるかは非常に大変なことだと思います。実は私は山梨県人ではなくて生まれは長野県でして、北の北信に真田家がありまして、そこに佐久間象山という男がいて、佐久間象山と山県大弐はほぼ似たような人生を送って来ています。ですが、その北信に行きますと、

象山神社という神社がありまして、そこは知恵の神様ということで、毎日、特に受験生のお客さんがすごく多いです。ですから私は宣伝の方法だと思います。どういう方法を取ったかは知りませんが、佐久間象山というのはあの地域の方は皆知っています。真田昌幸よりもまだ知名度が高いです。ですから、そういう所へ1回行って聞いて見ることも必要ではないかと思います。

[秘書政策課長]

象山というと勝海舟に繋がっていきますからね。

[委員]

山県大弐も引っぱって行くと勝海舟の時代に繋がらないとも限らないです。そのようなことも色々していけば恐らく知名度も高くなるのではないのでしょうか。

[秘書政策課長]

幅広く色々な学術、天文だとか音楽だとか、色々なものを修めたという歴史上の実績があります。そんな中、思想の話でいってしまうと非常に分かりにくくなってしまいます。そういうことを意識してPRを繰り返していくことしていかないとはいけません。

[委員]

私がありましたのは、何十年か前に文化協会で舞踊の奉納で何回かそこに行きまして知りました。これだけ偉い方とは知りませんでした。教育の面でも子供達に伝えていく必要があると思います。

[会長]

ラジオ体操の関係で平成24年度のチャレンジデーは、5月30日と伺いましたが、今年度と同じようにラジオ体操メインで行くのかその辺の具体的な案は決まっていますか。

[事務局]

まだ、決まっておりません。スポーツ振興課で対応していくのですが、まだ具体的には決まっておりません。

[秘書政策課長]

ただ、ラジオ体操のイベントを行うということですね。

[事務局]

はい、その予定となっています。

[会長]

その他ありますか。無いようですので次の項目へ進みたいと思います。

5の行政視察、双葉庁舎改修事業についてですが、こちらは現地での説明となります。移動をよろしくお願ひします。

[事務局]

大森支所長に従い、双葉庁舎へ移動ください。

《双葉庁舎へ移動》

[会長]

(4) 行政視察：双葉庁舎改修事業について

続きまして5双葉庁舎改修事業について大森支所長から説明願ひします。

(大森支所長現地説明)

[事務局]

双葉公民館へ戻って質疑を行いたいと思いますので、双葉公民館へ移動ください。

《双葉公民館へ移動》

[会長]

ただいま大森支所長から説明を受けた内容につきまして、委員の皆様からご意見、ご質問等がございましたらお受けしたいと思います。無いようですので進みたいと思います。

(5) その他

[会長]

それでは、続いて6のその他に参りたいと思いますけれども、全体を通じまして、何かご感想、ご意見等ございましたら発言をお願いしたいと思います。

[委員]

駐車場から文化ホールに行く道はそのままでしょうか。

[双葉支所長]

今までどおり使用できます。

[委員]

狭いとご意見がありますが。

[双葉支所長]

施設がありますので以前と同じように利用していきます。

[委員]

大久保から高原団地裏へ市道を造っていますが、市道を造ることで住宅地になることが想定されますが、あらかじめ舗装する前に上下水道管を埋設する予定はありますか。

[秘書政策課長]

基本的には造ってから、数年経って掘り返して管を入れることはありません。舗装するまでに点圧の期間を置いたり、落ち着かせる期間を置いたりとか時間を置くことはあります。全部舗装した後に管を入れることはありません。今、あそこがどういう計画の管路になっているかは承知しておりません。

[委員]

あそこは当分の間は住宅地になりませんか。

[秘書政策課長]

道路の工事自体は都市計画課で線の計画を入れますが、それに付帯する上下水道の設備等は調べて、確認してお知らせするようにいたします。下水道は区域的な認可が通っていないと下水管は布設することはできません。道路を造る設備投資をした場合に上水管は間違いなく通すと思いますが、下水道計画をどう考えているかを委員の皆さんにお答えできるようにしたいと思います。

[事務局]

会議録と一緒に送付いたします。

[委員]

今の関連で、新しく双葉バイパスが出来ましたけれども、交差点から200mほど入って来た所に消防署双葉分署予定地がありますが、北側の箇所は何になりますか。

[秘書政策課長]

私が知っている範囲でお答えいたしますが、大塚バイパス沿いにある大きな土地を市で買って、均してあります。その隣は小学校の校庭、要するに、溜池の用地を拡張出来るようにと、学校グラウンドを広くする関係で、溜池用地をいただいて学校用地を広くしました。その関係で、溜池を今度バイパス方へ広げることが出来るだけの用地を確保しなければならないといった土地があります。その1番南の角の所に峡北消防の双葉分署を造ろうと計画しています。

[委員]

今、消防署を造る所以外の土地は、全部、溜池用地の確保ということですか。

[秘書政策課長]

そうです。そういうことで取得した土地で、今すぐに調整池を広げて造ることはしませんが、その間について、公園と言いますか、広場と言いますか、何かそういう物を暫定的に整備しようと考えています。

[委員]

暫定的に造ると言うことですか。

[秘書政策課長]

広げられることが出来るような空き地を取って置くとのことですか。

[委員]

実はその土地に、大きな工事用のコンクリート片が運び込まれていますが、その確認をお願いします。場所的に言って、状況を見て、置かしてあげているような状況では、私の感覚ではないです。バイパスからは見えないように積まれています。コンクリート片を埋められてしまうのであれば今後の利用に不都合があると思います。

[秘書政策課長]

わかりました。私たちで確認してご連絡いたします。

[委員]

地域のことで、下今井地内の稲久保川脇に農道がありますが、この道が交通止めになって通れなくなっています。今後どのようになっていきますか。

[秘書政策課長]

今、双葉支所地域課の職員を連れて来ますからお答えできると思います。

[双葉支所市地域課]

20号のバイパス工事をしていまして、側道を作るときにその道も整備する予定です。もともとの道を分断することはないと思います。国土交通省の工事にあわせて取り付け工事をする予定です。

[秘書政策課長]

場所わからない人もいますので、地域課に図面がありますか。

[双葉支所市地域課]

探します。ただ当初の計画とは若干のずれがあるとは思いますが。

[秘書政策課長]

見つけて、図面を送りたいと思います。

[委員]

私のほうからお願いがありまして、市道盾無上の山線の鰻沢川に架かる古森橋より葦崎側の道路が拡幅されましたが、甲斐市側の古森橋の幅員が非常に狭く通行に支障があります。是非とも橋の拡幅をお願いしたいと思います。

[双葉支所市地域課]

橋を広げただけだと双葉側の所が極端に狭いです。現地がカーブになっている箇所であり、工事するのであれば、手前側から広げないと返って危ないと思います。

[委員]

葦崎側は県道からもあそこを隅切りしたり整備したりしていますよね。

[双葉支所市地域課]

葦崎も拡幅が出来ている所もあるし、出来ない所もあるし、橋から向こうの交差点の手間までは、ちょっと広いですが、交差点の手前の30mくらいが、すれ違いがギリギリで、ミラーをぶつけてしまうことも見受けられる所なのですが、葦崎の地権者の協力が出来なくて広がらないと聞いております。

[委員]

そういう問題があるかも知れませんが、ぜひ早急にしていただければありがたいと思います。

[秘書政策課長]

何らかの返事を後でしてください。

[双葉支所市地域課]

わかりました。

[委員]

もう一点は、審議会も出来れば、予算査定の前にしていただければ、場合によっては我々が要望することが予算の査定に間に合い、来年度の予算で何とかすることも可能ではないかと思えます。今はもう市長査定も終わってしまった段階だと思います。出来れば、審議会の時期を11月から12月の早い時期にいただければありがたいと思います。その辺を含めて検討していただければと思います。

[秘書政策課長]

実は、私たちが年度の始めの時には、もう少し早い時期にしなければならぬと思っていて、ただ幾つか案件的なもので、塩崎駅のことをお知らせしなければならぬ時に変更も入ってしまい伸びてしまいました。大変申し訳ないと思っております。時期的な問題として、どうしても次回に向けて直さなければならぬと思っています。もし、案件の問題を飛ばしてでも時期に合わせた開催を検討していきたいと思えます。

[事務局]

実は、本来は我々も11月で準備をしておりましたが、塩崎駅の変更がありまして、その説明

会が12月末に行われることが決定されまして、その内容について、ある程度固まった段階で審議会に報告するような形となりまして、一月半ほどの延びてしまいました。特段問題がなければ、11月の頭くらいの開催が充分可能ですので、来年度以降は開催していきたいと思っております。

〔会長〕

乳幼児健診の関係で、3箇所の竜王と敷島と双葉の保健センターがありますが、双葉保健センターは狭くて使いづらいとの地元からの声がありまして、その辺の改善が出来ないかということですが、支所が出来れば、双葉公民館の改修に入りますが、改修の時にワンフロアで使える空間を、乳幼児健診が出来るようなものに出来るかどうかの検討していただければありがたいなという気持ちです。現状は、エレベーターがあつたり、色々、健康増進課の方々も検討されているようですが、乳幼児健診に来る方は、子供連れだったり、荷物持ったりして来ている経過がありますので、出来るだけ楽に健診を受けられるような環境を整えていければという思いがあります。話を聞くと健康増進課では、時々は竜王行ってもらったり敷島行ってもらったりとそういう配分をしているようですが、出来れば近い所でそれぞれの地区ごとにしていただくのがベストですので、その辺の部分も検討していただければという要望です。

〔秘書政策課長〕

わかりました。今のお話の部分は、健診を待っているときに階段の部分で待っていなければならないことがあると聞いております。3箇所、竜王、敷島、双葉で健診をしていますが、特に双葉が使い勝手悪いということで、改善の要望の声は届いております。部分的な改修は難しく、出来れば、使い勝手が良いフロアに改修する工事費を国の予算を確保することが出来るのかと担当が研究した経緯がありますが、あんまり古い建物でないですので、社会教育関係の元々の施設ですので、用途上の使い勝手の良い改修をどういう風にするか答えは出ていませんが、いずれ皆さんの地域の声とそれをどうすれば良いかを健康増進課にも届けて、検討材料とさせていただきます。

〔会長〕

今、一番近い所で、公民館の改修がありますので、取り敢えずそれが完成されるまでは公民館の所でもそういう使用が出切るのであれば、カーペット敷くなり、そういう環境を整えるのであれば、暫定的であっても整備していただければ、一番早く解決するのかという思いもあります。

〔秘書政策課長〕

私たちから要望として伝えます。また回答できるようにいたします。

〔委員〕

茅ヶ岳東部広域農道工事のダンプカーの通行により市道や農道のアスファルト等が傷んでいます。広域農道完成の折は、修復していただけますか。

〔秘書政策課長〕

いずれにしても、茅ヶ岳東部広域農道を通すときには必要な工事しなければならないと思いますが、その後はアスファルト等が傷んだままでは困りますので、農林振興課になるとは思いますけれども、どんな考え方を持っているかを、また調べてお答えしたいと思います。

〔会長〕

その他ございますか。なければ、閉会のあいさつを長坂副会長お願いいたします。

〔副会長〕

行政の説明をしていただきましたけれども、事務局からも詳しい説明をしていただきました。たくさんのご協議をしていただきましてありがとうございました。いずれに致しましてもよりよい事業へとお願いしたいと思います。以上を持ちまして閉会とさせていただきます。本日はご苦勞様でございました。

〔秘書政策課長〕

ありがとうございました。閉会にあたりまして最後に挨拶を交わしたいと思います。ご起立願います。相互に御礼願います。(お疲れ様でした。)